



③JR田浦駅周辺

JR田浦駅は、明治37年(1904)に開設されています。駅はトンネルに挟まれ、現在の11両編成の電車ではホームに止まりきれないため、ドアが開かない車両があるという全国でも珍しい駅です。駅の周辺には、旧海軍軍需部への引き込み線や、明治22年(1889)に大船一横須賀間が開通した当時のトンネルなどが残されています。



しちかま
七釜トンネル

JR田浦駅の横須賀側に、明治・大正・昭和に造られた三つのトンネルが並んでいます。中央のトンネル(下り線)は、明治22年(1889)の横須賀線開通時に完成した最も古いトンネルです。上り線の美しいれんが造りのトンネルは、複線化に伴い大正13年(1924)に増設されました。一番大きいトンネルは、昭和18年(1943)軍需輸送の引き込み線用として造られたものです。駅の高架から三つのトンネルを見る事ができます。

駅周辺は、昔は鎌を失うほど草が繁茂していたため「失鎌(しっかま)」と呼ばれていましたが、蒸気機関車の「釜を失う」に繋がることから、同じ発音の「七釜」に文字を変えてトンネルの名前にしたと言われています。

引き込み線

JR田浦駅から伸びる引き込み線は、旧海軍軍需部倉庫用地から港まで網の目のように覆っていました。昭和50年代までは、長浦港で荷揚げされた貨物を積む列車が走っていましたが、その後は、一部米軍が使用する部分を除き廃線となりました。現在は、倉庫群を抜ける道沿いに、その一部が残っています。

比与宇トンネルからJR田浦駅に向かう道路沿いには、駅から米軍の箱崎燃料基地に向かう線路と、比与宇トンネルでスイッチバックした線路が十字に交差する珍しいポイントがあります。

④比与宇トンネル

比与宇トンネルは終戦まで軍事用引き込み線のトンネルでした。当時、JR田浦駅から長浦港倉庫東側に向かう貨物車は、一度トンネル内に進入しスイッチバックして方向転換したため、2方向から引き込み線がトンネル内につながっていました。

周辺には旧海軍軍需部の弾薬庫関連施設があり、列車からの弾薬の積み降ろしは、このトンネル内で行われていました。このため、線路と車道が並ぶ珍しいトンネルでしたが、現在、トンネル内の線路は撤去され「軌道終端」の看板だけが残っています。

観光ボランティアガイドのおすすめ

「YOKOSUKA軍港めぐり」クルーズ

長浦湾と横須賀本港を結ぶ新井掘割(人工の水路)を通り、長浦湾の倉庫群やガントリークレーン、港に停泊している米海軍・海上自衛隊の艦船などを船上から見学できます。乗船場はショッピングプラザ横須賀裏(汐入駅から徒歩3分)。周遊約50分。予約・問い合わせは(株)トライアングルへ。
(株)トライアングル <http://www.sarusima.com/>
TEL: 046-825-7144 定価1200円(小学生以下は600円)
時: 11:00・12:00・13:00・14:00・15:00(1日5便)



横須賀梅酒 田浦梅の里の梅 100%使用

田浦梅の里のウメの実を使用したワインが発売されたのは平成7年のこと。その後発売された梅リキュール、パールワインとともに、横須賀土産として定着しています。

これらに加え、平成21年8月新たに「横須賀梅酒」が発売されました。田浦梅の里で収穫されたウメの実を100%使用し、香料を一切使わない、ウメ本来の香りと風味をお楽しみいただけます。

価格: 1050円(税込)

横須賀酒販協同組合 (TEL: 046-823-1336) 加盟の酒屋でお求めください。



横浜ベイスターズ 総合練習場

プロ野球横浜ベイスターズの総合練習場は無料で見学ができ、練習をしている選手を間近で見ることができます。

ここは昭和2年(1927)に旧海軍軍需本部が置かれ、湘南電車軍需部前駅(現在の京浜急行安針塚駅)から多くの人の行き来がありました。戦後は、昭和60年(1985)まで遠洋捕鯨基地として利用され、この練習場の敷地も、遠洋捕鯨の大西洋漁業(株)の工場でした。



ヨコスカの遊び情報は「ここヨコ」で!

携帯情報サイト「ここはヨコスカ」

横須賀のお出かけ情報をいつでも、どこでも手軽にチェック! 横須賀の観光スポットから最新イベント情報まで、情報満載の携帯サイトです。サイト内からメールマガジン登録すれば、観光・グルメクーポンなどさらにお得な情報も!(右QRコードからどうぞ)
URL:<http://www.cocoyoko.net/>



パソコンでチェックするならこちら!

横須賀の観光スポット・イベント情報を紹介するホームページです。今が旬のイベント情報や、横須賀でしか味わえないグルメ情報などミニマム情報が満載! 横須賀行くなら「ここヨコ」をチェック!
URL:<http://www.cocoyoko.net/>

【ここヨコ】検索

■お問い合わせ 横須賀市コールセンター
TEL: 046-822-2500 <年中無休8:00~20:00>

横須賀集客促進実行委員会(横須賀市、横須賀商工会議所、京急電鉄)

事務局 横須賀市経済部商業観光課 TEL: 046-822-8124

平成24年6月発行

観光ボランティアガイドが足で調べた

三浦半島

きまに 散歩 マップ付

京急田浦駅 ～安針塚駅～逸見駅



長浦港周辺の近代化遺産



「近代化遺産」は、先進的な技術や材料などを用いて造られ、日本の近代化に貢献した「産業・交通・土木」に関連する建造物や構造物のことです。普段、何気なく利用している駅や橋、トンネルも実は貴重な近代化遺産なのかもしれません。

長浦港周辺には、明治から戦後にかけて旧海軍工廠造兵部や水雷学校などが置かれ、今なお多くの構造物が残されています。

1 旧海軍工廠造兵部

船越町の東芝ライテック(株)横須賀工場周辺は、明治19年(1886)から昭和20年(1945)まで旧海軍工廠造兵部が置かれ、昭和10年代には3万人を超える職工が働いていました。

現在の工場の敷地内には、明治19年に造られたれんが造りの旧鍛錬工場事務所をはじめ、大正2年(1913)に竣工し、関東大震災でも崩壊しなかった旧造兵部本館、機銃工場(1934)、発電工場(1929)など、旧海軍の建造物が数多く残され、現在も利用されています。敷地内に入ることはできませんが、道沿いから見ることができます。



旧海軍軍需部長浦倉庫



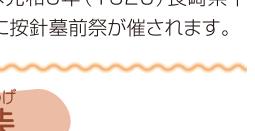
旧海軍軍需部は、砲弾、魚雷などの兵器から軍艦で使う燃料、食料、被服までの一切の軍需物資を集め保管し、軍艦などに補給する役目を担っていたところです。長浦港の岸壁に沿った倉庫群は、旧海軍軍需部の長浦倉庫といわれ、主に兵器庫があつたところです。現在でも、当時の建物が海上自衛隊や民間会社によって利用されています。



①県立塚山公園

塚山公園は、「かながわの景勝50選」にも選ばれており「見晴台」「港が見える丘」からは、遠くは房総半島や横浜、眼下には横須賀港、猿島などが見渡せます。

春先は桜の名所として親しまれ、毎年3月下旬から4月上旬に「塚山公園さくら祭」が開催され多くの人にぎわいます。



②十三峠

享保5年(1720)に江戸湾防備のため浦賀に奉行所ができ、江戸一浦賀間の往来が盛んになったことから、保土ヶ谷、平塚から三浦半島の浦賀に至る東西の2本の道が作られました。保土ヶ谷からのルートは「東の浦賀みち」と呼ばれ東京湾沿いの経路で浦賀に至っていました。

ここ十三峠は東の浦賀みちを往来する旅人や村人たちにとって非常につらい山道で、浦賀みち最大の難所であったと言われています。十三峠の名の由来には、保土ヶ谷より13番目の峠ということで名付けられたという説や、峠に祭られた十三仏にちなむという説などがあります。



④田浦梅の里

昭和9年(1934)に今上天皇のご生誕を記念して、地元の有志が700本の梅を植えたのが「田浦梅の里」の始まりです。約2,700本の梅が2月上旬から3月中旬にかけて見ごろを迎えます。1月から3月にかけては75,000株のスイセンの花も楽しむことができます。

梅の里内にはキャンプ場、芝生広場などもあり、のんびりと自然を楽しめます。展望台からの眺望は素晴らしい、正面には東京湾が広がり、横浜のランドマークタワーや東京湾アクアラインの海ほたる、房総半島を見渡すことができます。